

【学校教育目標】

夢の実現に向けて確かな学力、豊かな心、健康体力を身につけた児童生徒の育成

【目指す資質・能力】 論理的思考力・探究力・想像力・コミュニケーション力・共感力

- 1 学校経営の基盤・・・信頼関係を基盤にすえ、学校では子どもが輝き、教師が輝き、地域が輝く
 - 子どもが輝く・・・「分かった・できた」を実感する授業。小さな伸びを認める。豊水小の自慢は豊水っ子。
 - 教師が輝く・・・笑顔で気配り・プラスワンで働く。教師の頑張りが認められる。教師の良さが生かされる。
 - 地域が輝く・・・地域の教育力の活用。Win－Winの関係作り。「命を守る」ための協力依頼。
- 2 学校経営の方針・・・内発的な動機付けを生かした学校経営を→考える力による改善

「笑顔・いい声・いい心」いっぱい为学校
 1年間のステップ：ガイダンス→チャレンジ（挑戦）→レベルアップ

- (1) 教師力の向上 育ての心を持つ教師。自信と誇りを持ち、厳しくも温かく育む教師であること
 - 「教師は授業で勝負」・・・学び続けるものこそが教える資格を持つ（フレームリーディング・Tトレの確実な実践を）授業で子どもの瞳を輝かせ、自信をつけさせ、夢を持たせる。それが教師の仕事。
 しゃべりすぎない。子どもの話を最後まで聞く。
 子どもを45分間休憩させない。＝全員参加型の授業づくりをする。（まずは、聞く態度の育成）
 褒め言葉をたくさん持っておく。短く、あっさり、自分の思いでほめる。（25%ルール・Tトレ）
 一時間の伸びを必ず実感させるための評価・言葉かけの重視。→レベルアップの意識を持つ
 - 「学習指導＝即生徒指導」 「分かった・できた」の授業の中で自己有用感と自己肯定感を育む すっきり感を持たせて終わる
 - 「言葉・話を大切に」
 - ・教師は最大の教育環境。自分の言動が子ども一人一人の人格形成に深く関わる。心を傷つけない。
 - ・Tトレの手法を生かした指示と褒め。
 - 「レベルアップ」を図る・・・①1回目にはできるようにする ②考えて行動する ③いじめをしない ふわふわ言葉を使う を児童に意識させた指導に努める。→特に、あいさつ・返事、「君」「さん」を付けて呼ぶ、感謝の気持ち等の共感力のレベルアップ
 - 「主体性を育てる」・・・主体性を育てるためにも「めあて－見通し－まとめ」は児童の言葉から引き出し、授業への参加意識を高める。「教師から与える」発想から、「子供から引き出す」発想へ。
 - 「肯定的注目」・・・Tトレの手法を授業内外で生かす。25%ルールによって褒め、分かり易い指示をし、好ましい行動を増やしていく。
- (2) 人権教育・特別支援教育の視点を大切にした環境づくり・・・静かさの中に活気を
 - 児童の特性や環境への理解を。気になったら電話。電話より訪問。教育→今日行く
 - 授業のユニバーサルデザイン化。見通しを持たせる。視覚的指示等。
- (3) 組織力の向上・・・情報の共有→協働体制
 - 「報告・連絡・相談・確認」の徹底・・・初期対応が問題解決の鍵。明日に持ち越さない。後で後悔しても時間は戻せない。その時に。
 - オフサイトミーティング（気楽にまじめな話をする）を意識した情報共有→指導・協力体制へ。一人ではなく二人で、チームで。
- (4) 信頼される学校・・・子どもの変容、向上した姿から保護者や地域からの信頼を高める。
 - 地域とともにある学校づくり
 地域、保護者の信頼（協力）なくしては、学校は成り立たない。情報発信のチャンスを生かす。学級便りを大切にし、子供の成長や伸びを積極的に伝え、家庭でも自己肯定感を高めてもらう。
 美しい学校環境づくり。季節の花々・掃除の行き届いた空間・整理整頓（きれいな都市は成長する）
 幼・保等、小、中連携・・・保育要録・指導要録等を読み返す。小中一貫教育の推進
 - 伝統の継承・・・良い所を下学年に引き継いでいかせる。→それが保護者・地域からの信頼となる
 - 教職員としての使命と責任を果たす・・・不祥事の防止、気づき・考え・行動する教師に。

豊水小が大好き！全児童54名誰もがそう思えるように